



梅雨の頃のメタセコイヤ (撮影:長 博雪)



No.12 (平成18年)
 社会福祉法人 鶴風会
 東京小児療育病院
 みどり愛育園
 西多摩療育支援センター
 後援会
 一連絡先—
 東京都武蔵村山市学園4-10-1
 電話 042(561)2521 (代表) 〒208-0011
 東京小児療育病院内
 Eメール tcrh@kakufuh.com

理念

私達は
**障害児者の生命機能の維持
 向上と生活援助のための誠実に
 積極的に取り組む障害児者と
 その家族を支援します**

メタセコイヤ随想

みどりの愛育園 園長 長 博雪

みなさんは、「メタセコイヤ」という樹を知っていますか。そう 街路樹としてもよく植えられますし、わたしたちの西多摩療育支援センターの横、旧秋川高校跡にあるメタセコイヤの並木道は有名です。近年話題になったドラマ「冬のソナタ」のワンシーンにもメタセコイヤの並木道が見られたとか。「ああ、あの樹!」と思い出される方も多いかと思えます。今回はそのメタセコイヤに関するお話をしましょう。

メタセコイヤは杉や桧の仲間。針葉樹というグループに属しています。この仲間が栄えたのは遠い遠い地質時代。新世代第3紀〜第4紀の始めにかけてでした。この時代、世界中に広く分布がみられ、日本でもこの時代の地層からよく化石が発見されるそうです。仙台の伝統工芸に「埋もれ木細工」というのがあるのをご存じでしょうか?。青葉山城の付近から

10頁	メタセコイヤ随想
9頁	就任のご挨拶
8頁	茹で蛙にならないために
7頁	発達障害研修セミナー開催
6頁	医局新年会にて
5頁	しんくみびーターパンカード
4頁	新入職員紹介・行事計画
3頁	地域療育支援事業・永年勤続表彰式
2頁	後援会だより
1頁	ご寄付者名簿

は、古来より、この時代のメタセコイヤ属の材化石が見いだされ、加工して磨いたり漆を塗ったり。小箱やお盆などの工芸品に仕上げるのだそうです。私も仙台を旅行した折、小さな箱を購入。血圧のお薬を入れる容器として毎日使用しております。化石という語感からは、石のように固い、冷たいものという印象がありますが、決してそうではありません。木材と同じ。彫刻刀などで容易に加工することが出来る柔かい温かみのある素材です。しかし、数百万年という長い月日の間、深い地層に埋もれてきた黒褐色の木肌。美しい木目。僅か数十年という短い人生と数百万年という埋もれ木との出会い。この小箱に触ってみると、遠い過去の物語が手を通して話しかけてくれるようです。八王子付近の河川敷にも、メタセコイヤの樹幹化石が見られる所があるとのこと。遠い昔には、このあたり一帯にもこの樹の林が広がっていたのだなあと想像してみました。メタセコイヤは滅びてしまった植物、化石だけでしか見ることができない植物と思われています。しかし、第二次世界大戦の後のころ



メタセコイアの埋もれ木細工

(一九四五年)でしようか、中国の重慶の近く、「磨刀溪」という場所で生きていたメタセコイアの大樹が学者によって発見されました。「おお、生き残っていたか!」。世界の学者の驚きは大変なものであったようです。挿し木や実生にて世界中に植えられてきました。昭和天皇は学者天皇として有名ですが、このほかこの樹を好まれ皇居にも植えられたとか。学校関係にも配られたよう。「生きている化石」として教材にもなったのでしよう。私を通った福岡市郊外の小学校にも校庭に植えられていました。春になると、美しい若芽が萌え出していきます。5月、独立樹では美しい円錐形の樹形に。春風にそよぐメタセコイアの若葉。風までも黄緑色に染まるのかとおもわれるほど。梅雨の頃。やわらかい葉はやさしく

雨滴をとどめ、旅人の心を慰めてくれます。盛夏にはたくさん蝉たちの声。その並木道。心地よい木陰をブレゼント。晩秋、黄葉して褐色に。やがて落葉。たくさん枯葉が降り積もります。そして冬。すっかり裸になって、寒そうです。しかし、じっと芽吹く春を待っています。こんな、ながい物語のある樹。そんなにくさんあるものではありません。春になったら、家の中にじっとしていないで、西多摩療育支援センターの横のメタセコイア並木に出掛けてみましょう。あなたにそっと、とっておきの不思議な話をしてくれるかもしれません。

就任のご挨拶

西多摩療育支援センター

施設長 吉野 邦夫



この四月、西多摩療育支援センターの施設長を拝命して着任いたしました。着任間もなしで、まだ仕事の内容や職分は十分に把握していませんが、センター長やスタッフの皆さんと協力して、西

多摩の独自の機能強化を目指す心づもりしております。ほどほどの老境に近づいていますが、どうぞよろしくお願いたします。

私はもともと鳥取大学で小児神経学の手ほどきを受け、鳥取の国立療養所で重症心身障害や発達障害の医療ケアに携わっていましたが、この八年間は、厚労省直営の国立秩父学園(所沢市)の園長として、知的障害・発達障害の仕事に専念していました。時まさに激動の時代で、基礎構造改革やブランドデザイン案など、障害福祉の制度や構造が大きく変化しました。またとくに自閉症を中心とする発達障害の課題は、欧米に遅れて出立すること数十年の開きがあり、新しい支援のシステムと内容を日本各地に構築するための研修拠点の役割は、大変にやりがいのある仕事であり、また大いに勉強にもなりました。そうした本業の傍らで、東京小児療育病院で月一度の土曜ボランティアもずっと続けて来ました。

さて、私に課せられた任務の一つは、発達障害児者の支援であろうと存じます。

発達障害に対しては、かつて『治療教育』という言葉が用いられたように、医学と教育あるいは福祉が合流する、まさにその接点にある領域です。また家族の様々な思いや制度的制約もあります。伝統的思想や新しい技術的潮流もあります。こうした極めて複雑に絡み合う分野ですから、医療や教育のどちらか一方に偏ってもバランスを失って、子どもに悪影響

が及びます。古い日本の制度や意識に対して、本当に新しい視点や新しいパラダイムが必要で、ゼネラリストモデルやターゲターと呼ばれる考え方もその一つです。もちろん病院には病院の立場や役割、伝統がありますから、一足飛びに新しく変更できないし、すべきでもありませんが、新しい適応や展開が全くできない組織は恐竜の運命を辿ることも、また一方の真実でしょう。

西多摩療育支援センターは、そのような接点でもがいているのが魅力の一つです。悩んでいるのが新しさの証拠です。地図の不確かなジャングルを、一步一步進む危うさと、支援を求める大勢の利用者や家族の皆さんとの狭間で、スタッフと共に大いに苦しみたいと思います。何分にも私の生まれは島根の出雲。郷里の英雄、山中鹿之助は「我に七難八苦を与え給え」と月に祈った人。もちろん私とは何の血縁もありませんが、文化的DNAを受け継いでいるのかもしれない。西多摩のセンターに対する私の思いと祈りが、誤解でなければ、と願っています。

茹で蛙にならないために

理事長 五島礎智子

はじめて茹で蛙という言葉聞いた時、料理のことかと思つた。ところがそんな呑気な話でなく蛙を熱い湯に入れるとびつくりして飛び出す、水からゆつくり温めていくと、蛙はやがて襲ってくる生命の危険に気づかずゆつくりと茹で上がってしまうという話で、危機感のない日本の経済状況などを表す例に使われるという恐ろしい話であつた。

考えてみるとこの言葉は日常にもあてはまるのが沢山ある。そう思うと身震いがした。日々をうかうかと過ごし、徐々なる変化に気づかず、いつの間にか危機に陥ることは、周囲に満ちている。連日のように非人間的なこと、理不尽なこと、人道に悖るような事件が報道されている。親が子を、子が親を、友人を、家族を、強者が弱者を、弱者がさらに弱者を、痛めつけたり、殺したり、数も質も低年齢化も最悪の一途をたどっている。

長年、躰や道徳を疎かにして、拝金主義に支配された破廉恥な人々が増えた日本社会が、それを見過ごして危機感を持たないまま、ゆつくりと茹で蛙になっているのではないだろうか。

昔、日本は貧しかったが、アントン・チェホフ、エドワード・モース、ラフカディオ・ハーンなどのように日本を文化と礼節の国として賞賛してくれた外国人は数多い。天正遣欧使節（天正十年・一

五八二年）を謁見した教皇グレゴリウス十三世は、極東から来た言葉もわからない異教の四人の少年の、凛々しく、優雅で礼儀正しい立居振舞に感動し、涙を浮かべたと伝えられている。学生の研修旅行でゲーテハウスを訪れた時、博物館の絵葉書売場でぐんにやりとガラスケースにもたれかかっている学生がいた。すると売場の初老の男性が笑顔で近づいて「あなたは若いのだから、楽器を弾くように背中を延ばしなると美しく見えるよ」といった。もちろんドイツ語だったので同行の通訳の女性が、日本語で、これも笑顔で学生に伝えた。学生は恥ずかしそうに、それでも笑顔でありがとうと言いつつ姿勢を正した。大人が外国の若者にさえ助言する優しさときびしさ……：……そしてその言い方に感動したことは忘れられない。日本にも昔、年長者が年下の者を躰ける風習があつた。今は注意する大人も、素直に聞く若者もいなくなつた。

教育の結果は良くも悪くも何世代にも及ぶ。今、単に少子化を憂えるだけでなく健全で上質な子供を育てるために大人達は奮起しなければならぬ。しかしその大人共が金のために人を殺し、法律の網をかいくぐり、露見しても反省するどころか恬として恥じない悪の見本を示している現実を見ると、半世紀余りの間に日本人は、そこまで劣化したのかという思いに慄然とする。だが希望を失わず、自らを含め人間教育を実行するしかない。



ボランティア講座受講生募集

2006年度

＜目的＞

本講座は、心身に障害を持った方への援助方法などを基礎から実践的に学び、当施設の利用者はもとより、地域で暮らす方々へのボランティア活動を積極的に推し進めて頂けるように計画しました。

この機会に是非ご参加下さい。お待ちしております。

＜場所＞ 東京小児療育病院・みどり愛育園通所訓練棟職員研修室及び多目的ホール

＜対象者＞ 高校生・大学生・社会人・定年を迎えた方などどなたでも受講できます。

＜定員＞ 24名（各講座単独でも受講可能）

	日 時	テ ー マ	講 座 内 容
第1回	6月10日(土) 9:00~12:30	*車椅子で散歩に出よう	*オリエンテーション *施設見学 *車椅子への移乗方法、車椅子操作 *利用者と散歩
第2回	7月1日(土) 9:00~12:30	*利用者と一緒に遊ぼう	*コミュニケーションのとり方 *利用者と一緒にわらべ歌、トランポリン、ゲームを楽しむ
第3回	8月26日(土) 9:30~13:00	*摂食の援助方法を学ぼう	*摂食の基礎を学ぶ *利用者への食事介助の試み
第4回	9月9日(土) 9:00~12:30	*医学的に診た障害児者の特徴	*障害児者の特徴
第5回	10月14日(土) 9:00~12:30	*病棟体験実習	*更衣介助体験 *シーツ交換体験等
第6回	11月25日(土) 11:30~13:00	*修了式及び懇親会	*ボランティア講座修了式 *ボランティア懇親会

＜お申し込み先＞ 社会福祉法人 鶴風会 東京小児療育病院 ボランティア委員会
担当 高野（庶務課） 大川（コーディネーター） 電話：042-561-2521

「発達障害研修セミナー」を開催して

東京小児療育病院 院長

桜川 宣男

東京小児療育病院の主催による「発達障害研修セミナー」は平成十八年三月十八日・十九日の二日間、東京小児療育病院職員研修室において開催された。研修セミナーの開催趣旨は、「全国の療育施設において発達障害の医療に携わっている医師と一緒に、医療の問題に関する知識とその実習に関する研修を行う。そして現在私たちが直面している問題について相互の情報を交換して、障害児医療の向上を目指す」ことであった。ホームページへの掲載と関係施設への案内状の送付による参加募集を行った。そして全国より二十四名の参加登録があった。当日は三名のキャンセルがあったが、遠くは沖縄、長崎から参加された。院内からは医局員およびコメディカルからの参加者は四十四名であった。

最初、秩父学園園長の吉野邦夫先生が「発達障害の概念とこれからの課題」について、二時間半にわたる講義を行った。主要な発達障害（学習障害、注意欠陥多動性障害、広汎性発達障害、自閉症スペクトラム）については、先生の長年にわたるご経験を踏まえたわかりやすい講義であった。また「発達障害の支援と基本的視点」についての講義は、先生の障害児に対する基本的姿勢がにじみでている講義であった。次に、よこはま発達クリニックの飯塚直美先生が「高機能自閉症/アスペルガー症候群のコミュニケーションの理解と支援」について講義された。先生は英国に留学された言語聴覚士であり、多数の著書を刊行されている。先生の豊富な経験をもとに、発達障害児のコミュニケーションの支援に重点をおいたグループ指導の紹介をわかりやすく講義された。次に、西多摩療育支援センターの鶴岡広センター長が講義した。発達障害からみた、靴の選び方、車いすの使用法に視点を置いた講義であった。整形外科医の立場からの話で、日頃はあまり聞く機会がない話題をとりあげての講演に感謝したい。初日の最後の講師は、福祉社会研究所 医療・脳科学部門の加藤俊徳先生であった。先生の研究されている「海馬回旋遅滞症」についての熱弁には、聴衆一同、圧倒された。また先生が企画されている「発達障害における新しい脳画像鑑定サードシステム」についての説明があった。今後の発展を期待したい。

第二日目の午前は、西多摩療育センターの岡田祐輔先生が、「自閉症の人たちへの支援〜TEACCHプログラムへの考え方〜」についての講義を行った。先生のアメリカでの留学の経験をベースにし

て、日本バージョンにつくられた力作を拝聴できた。TEACCHの歴史、基本的な考え方からはじまり、日本での経験を紹介されたことより、コミュニケーション支援の応用編は大変に役立つ講義



セミナーのようす

であった。午後は、北海道教育大学障害児教育講座の青山真二先生が、「発達障害児の理解と支援〜認知的視点からの理解と支援の試み〜」について講義された。先生は「K-ABCアセスメントと指導」の編者でもあり、具体的な例による紹介はわかりやすく、聴衆からも評価が高かった。最後は西多摩療育センターの石原幾子先生が「発達障害に対する支援〜感覚統合療法の視点から〜」について講義をされた。解剖学、生理学に立脚した療法であることの説明と「感覚調節障害」「行為障害」への治療的介入まで幅の広い講義であった。

セミナー終了にあたり、参加者から受講した感想のアンケートをいただいた。「有意義であった」「さらに規模を拡大してほしい」「来年度も企画してほしい」などの意見が寄せられた。「スタッフも含めて熱意が伝わってくる、同時にあったかいほのぼのとしたセミナーであった」との意見を一読したとき、このセミナーを企画して、実行してよかったと胸をなでおろした次第である。これも鈴木康之総括施設長のなみなみならぬ熱意に皆がひっぱられての事業であった。今後とも、東京小児療育病院が障害児療育全般にわたって、日本全体をリードしていくという情熱と信念を持ち続けることが大切であり、また期待されているということ末筆にそえて、セミナー後の印象記とさせていただきます。

「発達障害研修セミナー」日程表

平成十八年三月十八日
九時三十分～十二時

「発達障害の概念と地域リハビリテーションの構築」吉野邦夫先生（国立秩父学園）

十三時～十五時

「高機能自閉症の言語とコミュニケーションについて」飯塚直美先生（よこはま発達クリニック）

十五時十五分～十六時四十五分

「靴と車椅子」鶴岡 広先生（西多摩療育センター）

十七時～十八時三十分

「脳画像と障害児教育」加藤俊徳先生（社）福祉社会研究所医療・脳科学部門）

十八時～ 懇親会

平成十八年三月十九日

九時～十二時

「自閉症の人たちへの支援」TEACC Hプログラムの考え方」岡田祐輔先生（西多摩療育センター）

十三時～十五時

「発達障害児の理解と支援」認知論的視点からの理解と支援の試み」青山真二先生（北海道教育大学障害児教育講座）

十五時～十七時

「発達障害に対する支援」感覚統合療法の視点から」石原幾子先生（西多摩療育センター）

「医局新年会にて」

非常勤婦人科医師 北川豊子

一月二十二日、高輪プリンスホテル「松の間」での医局新年会に御招待いただき、時のたつのを忘れてしまいう程、心温まる時間をすごさせていただきました。新年会は、総括施設長・総施設長ご挨拶に続き、後援会会長の乾杯とスムーズに流れていきました。ちよつと空腹感を覚えた頃に、中華料理等がテーブルにゆつくりと順次運ばれてきます。ほほ満足した頃、鈴木康之先生の系賀賞受賞のお祝いということになり、これはこの日迄、当の鈴木先生には秘密になさっていたとお話でした。ダウン症の青年ピアニストによるコンサートを企画なさったのです。サプライズコンサートとはこの事だと思いました。青年ピアニストの名は越智章仁さん（一九七九年生、二十九歳）で、お母様の知子さんは、誕生から今日まで特に御主人が癌で亡くなられてからは文字通り一人で彼を導き、支えてらしたわけです。プログラムには「夢を持って」と題されていましたが、大きくなってても社会に役立つ人間にはなれない子が授かったと息子の将来を思い悩んだ日々があったと共に生きてこられた話をお聞きしました。皆、だんだん目頭が熱くなり、涙が出て手やハンカチでぬぐっていました。本当に様々なご苦労はいかばかりであつたことでしょう。章仁さんは普通に話すことができませぬ。音譜も読めないのです。頭と心にある音符で作曲するのだそうです。彼の頭と心の音符が奏でた彼の自作曲ピアノ独奏に心が吸い込まれていくようでした。それは、「大空へ」・「星の降る夜に」・「愛のBGM」・「樹氷」と名付けられた曲です。大地より大空へ飛び立つ丹頂鶴を見て、又筑波山の樹氷を見た時のふるえるような感動を音で表現した彼は、その素直できれいなメロディと一心に弾く姿で、私たち皆を感動させてくれました。日常ともすれば忘れがちな心にしみ入るような演奏でした。鈴木先生のお祝いとして、これ以上にはふさわしい最高のプレゼントはないのではないのでしょうか。五島理事長先生や周囲の方の深く暖かい美意識と広いご配慮があつてのご準備と拝察しました。

東京小児療育病院での仕事の多くは地味で忍耐のいるものですが、越智さんのような成長が見られる明るい職場は少ないとは申せ、このような一筋の光がありここに生きてゆく意義があるのだよと教えられた気が致します。「夢を持って」今年も歩いていきましょう。医局新年会出席の機会をいただき、重ねて心より感謝申し上げます。



コンサートのようす



越智章仁さんとお母様

社団法人東京都信用組合からの ご寄付と「ピーターパンカード」

平成十八年三月二十三日東京都信用組合協会が主催する、平成17年度下期「しんくみピーターパンカード」寄付金贈呈式が行われ、当法人から五島瑛智子理事長が出席しました。この寄付金贈呈に、ご高配いただきました、協会の近藤宏理理事長はじめ関係者の方々に、厚く御礼申し上げます。この寄付金は、信用組合業界が(株)オリエントコーポレーションと業務提携して国際カード「しんくみピーターパンカード」として発行し、カードでのショッピング利用額の一部が社会福祉事業や関連団体に寄付されています。本部はロンドンにあり、かつては故ダイアナ皇太子妃が総裁をとめられました。日本では、障害や難病とたたかっている子供たちやその家庭などを支援することに役立てられているとことです。

寄付金贈呈式の席にて、近藤理事長から、「このカードでの利用額が多くなるほど、寄付にまわる金額が多くなるので、皆様にも広くご協力をお願いしたい。」とお話がありました。思いやりを集めるとしあわせをふやす力になります。近くに信用組合のあるところにお住まいの方々に、入会のご協力をお願いいたします。

(柴谷泰三記)



しんくみピーターパンカード



職場体験した中学生達

(高野雅明記)

中学生の職場体験について

昨年の十一月八日に武蔵村山第五中学校の一年生七名を当施設にて一日職場体験活動として受け入れられました。これは中学校の総合学習の一環として市内にある複数の事業所を生徒が選択して、実際に職場に入って体験活動をするものです。当施設としても中学生の受け入れは始めてのことで、最初はうまく病棟に入っていけるのか多少の心配がありました。しかし最初は緊張していた中学生と利用者ですが、反省会の時を全員笑顔で迎えることができました。(写真)

後日、学生さんからお礼状を頂き、「職員の方々が優しく利用者に接しているのを見て、将来はそんな看護師さんになりたいです。」という感想がありました。きっと、忘れられない貴重な体験になった事でしょう。

楽器の御寄贈

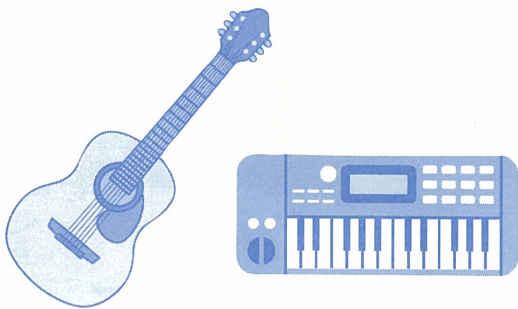
ありがとうございます

ご協力いただき有り難うございます。

頂戴いたしました寄贈品は、有難く使わせていただきます。

何卒、今後とも宜しくご支援の程をお願い申し上げます。

- ギター 壺阪比路里様
- バイオリン(三挺) 窪田 綾子様
- キーボード 高槻 義夫様
- エレクトーン 小川 昭子様
- エレクトーン 田賀真知子様
- ピアノ 平野敬八郎様



新 入 職 員 紹 介

東京小児療育病院・みどり愛育園

職 種	配 置	氏 名	年 齢	入 職 日
常勤 看護 師	西 2 病 棟	久 世 聡 子	28	H18/01/01
常勤 療 育 員	西 2 病 棟	小 林 綾	28	H18/01/01
常勤 看 護 師	西 1 病 棟	高 橋 一 枝	34	H18/02/01
常勤 看 護 師	西 2 病 棟	板 垣 乃 里 子	40	H18/02/13
常勤 理 学 療 法 士	理 学 療 法 科	菅 沼 雄 一	21	H18/04/01
常勤 理 学 療 法 士	理 学 療 法 科	羽 柴 弘 陽	23	H18/04/01
常勤 作 業 療 法 士	作 業 療 法 科	山 本 知 裕	22	H18/04/01
常勤 作 業 療 法 士	作 業 療 法 科	山 内 直 子	22	H18/04/01
常勤 言 語 聴 覚 士	言 語 聴 覚 科	竹 村 直 子	25	H18/04/01
常勤 言 語 聴 覚 士	言 語 聴 覚 科	松 崎 恵 吏	24	H18/04/01
常勤 看 護 師	西 2 病 棟	室 井 梨 沙	23	H18/04/01
常勤 看 護 師	西 1 病 棟	菊 池 絵 美	23	H18/04/01
常勤 看 護 師	東 1 病 棟	湯 浅 香 織	25	H18/04/01
常勤 看 護 師	東 2 病 棟	栗 田 剛	30	H18/04/01
常勤 看 護 師	東 1 病 棟	榎 本 美 智 子	47	H18/04/01
常勤 療 育 員	東 2 病 棟	白 藤 亜 希 子	24	H18/04/01
常勤 療 育 員	西 1 病 棟	神 彦 晃	24	H18/04/01
臨時 療 育 員	通 園	松 田 晶 子	34	H18/01/01
臨時 書 記	総 務 部 庶 務	本 木 淳 子	32	H18/01/16
臨時 託 児 保 育 士	院 内 託 児 室	関 野 由 美	42	H18/04/01
臨時 託 児 保 育 士	院 内 託 児 室	川 端 歩	26	H18/04/01
臨時 用 務 手	西 1 病 棟	酒 井 光 江	60	H18/04/01
臨時 看 護 師	外 来	佐 藤 智 美	25	H18/04/01
臨時 教 育 支 援 手	教 育 支 援 手	野 田 智 美	23	H18/04/01
臨時 洗 濯 手	洗 濯 手	遠 藤 み な 子	38	H18/04/01

西多摩療育支援センター

職 種	配 置	氏 名	年 齢	入 職 日
常勤 施 設 長	西多摩センター	吉 野 邦 夫	59	H18/04/01
常勤 言 語 聴 覚 士	第 2 訓 練 科	中 川 喜 美 子	25	H18/04/01
臨時 療 護 施 設 員	療 護 施 設	八 木 橋 智 子	39	H18/01/04
臨時 療 育 員	療 護 施 設	三 上 崇	39	H18/02/06
臨時 療 育 員	療 護 施 設	望 月 由 美	20	H18/03/01
臨時 療 育 員	療 護 施 設	松 田 優 子	35	H18/03/16

一生懸命頑張ります。よろしくお願ひします。

平成18年度上半期行事計画

	東京小児療育病院		みどり愛育園		みどり愛育園通園	
	東 1 病 棟 日付行事名	西 1 病 棟 日付行事名	東 2 病 棟 日付行事名	西 2 病 棟 日付行事名	幼 少 日付行事名	青 年 部 日付行事名
4 月			2 日(日) 花見(父母会主催)	25 日(火) 春の遠足	5 日(火) 入園式	5 日(火) 入園式
5 月	13 日(土) 遠足 1 班 16 日(火) ピクニック	28 日(日) 日帰り旅行	23 日(火) ハイキング 30 日(火) ハイキング	9 日(火) 春の遠足 15 日(月) 春の遠足 22 日(月) 春の遠足 26 日(金) 春の遠足 29 日(月) 春の遠足	17 日(水) 合同遠足	12 日(金) 施設交流会
6 月	3 日(土) 遠足 2 班	18 日(日) 日帰り旅行	9 日(金) ハイキング 13 日(火) ハイキング	5 日(月) 春の遠足	プール	プール
7 月	8 日(土) 遠足 3 班	23 日(日) 夏祭り 「村山養護学校夏祭り」	11 日(火) ハイキング	7 日(金) 七夕	5 日(水) 七夕 プール	23 日(日) プール 夏祭り
8 月	1 日(火) 夏祭り 25 日(金) 花火大会 25 日(金) 花火大会	25 日(金) 花火大会 地域の納涼会に 参加予定	4 日(金) ハイキング 21 日(日) 納涼会 25 日(金) 花火大会	17 日(水) すみれ祭り 「夏期外泊期間中」 25 日(金) 花火大会	プール	3 日(木) プール 合宿
9 月	12 日(火) ピクニック 24 日(日) みどり祭り	24 日(日) みどり祭り	19 日(火) ハイキング 24 日(日) みどり祭り	24 日(日) みどり祭り	プール	24 日(日) プール みどり祭り
10 月			13 日(金) ハイキング 17 日(火) ハイキング	22 日(日) スポーツ大会	21 日(土) 運動会	29 日(日) バザー

西多摩療育支援センター			
	も え ぎ 日付行事名	楽 日付行事名	上 代 継 診 療 所 日付行事名
4 月	4 月 4 日(火) 入園式		花見
5 月	5 月 17 日(水) 幼少みどり交流会 5 月 12 日(金) 青年他施設交流会	5 月下旬 活動交流会	お節句
6 月	5 月 12 日(金) 青年他施設交流会 6 月 3 日(土) 運動会(合同)	グループ外出	
7 月	7 月 7 日(日) 七夕(合同) あきる野養護夏祭 プール	7 月 30 日 納涼会	七夕 なつまつり
8 月	8 月 24~25 日 キャンプ	8 月下旬 活動交流会	
9 月			
10 月	10 月中旬以 おいも掘り センターまつり	センターまつり	センターまつり



平成17年度施設支援一般指導先一覧

	実数	延べ件数
幼稚園・保育園	42	53
学校・学童クラブ	20	20
作業所他	5	9
通園(児童)	3	5
その他	1	1
計	70	88

障害児(者)地域療育等支援事業の報告

平成17年	電話	家庭訪問	来所	在宅訪問	外来療育	施設支援
4月実数	12	0	31	2	1	2
延べ	31	0	56			
5月実数	33	0	35	2	1	6
延べ	62	0	48			
6月実数	33	0	40	1	0	8
延べ	58	1	60			
7月実数	13	0	17	2	3	2
延べ	15	0	21			
8月実数	32	5	51	3	3	3
延べ	32	6	57			
9月実数	26	1	28	5	3	8
延べ	37	1	34			
10月実数	27	1	37	1	2	10
延べ	31	1	53			
11月実数	31	0	42	2	2	9
延べ	39	0	71			
12月実数	35	0	27	0	1	3
延べ	47	0	51			
1月実数	22	1	33	1	1	15
延べ	29	1	41			
2月実数	33	0	42	3	0	4
延べ	42	0	66			
3月実数	24	2	31	5	0	17
延べ	31	2	57			
実数計	651	340	744	27	17	88
延べ計	454	12	615			

今年度は引継ぎなど慣れない事もあり、皆様にご迷惑をおかけしたこともしばしばありましたが、平成18年度もよろしくお願いたします。

平成18年度東京都の予算は決定しました。前年通りです。

平成18年5月1日
コーディネーター 相馬 潔

平成十八年度永年勤続表彰式

四月二十五日に今年度の永年勤続表彰式が当院研修室にて行われました。今年度は三十三名が表彰対象になりました。当日は五島理事長先生より表彰状と記念品が各人に授与され、式の後ささやかな会食と記念撮影で晴れの日をお祝いました。

勤続二十五年表彰者

神岡 邦子 (言語聴覚士)
加藤 早苗 (作業療法士)

勤続二十年表彰者

舟橋満寿子 (医師)
山下 裕子 (准看護師)
清水 幸一 (療育員)
松田 郁子 (療育員)
田中留美子 (療育員)
柳瀬 達夫 (療育員)
伊藤 泰広 (理学療法士)
甲斐 結城 (作業療法士)

勤続十五年表彰者

川井 礼子 (療育員)
乙幡 和明 (書記)
佐藤 朋己 (書記)
長田 幸枝 (准看護師)
野澤ひろみ (准看護師)
金子 俊彦 (療育員)
矢花 悟 (療育員)
北村 紀子 (療育員)

勤続十年表彰者

三上 敬央 (療育員)



表彰者集合写真

増山 文一 (療育員)
庄山 明 (療育員)
岩永喜代美 (療育員)
岩崎佳代子 (療育員)
渡邊ゆかり (療育員)
宮鍋 知子 (療育員)
斉藤 浩二 (療育員)
竹内 悦子 (療育員)
阿部 正美 (作業療法士)
高橋 和美 (看護師)
布川 益美 (療育員)
北川めぐみ (療育員)
大畑 敦子 (言語聴覚士)
北原 幸子 (看護師)



社会福祉法人 鶴風会
後援会 だより

不滅の法燈

後援会副会長 中里 厚

毎年春には自分自身を振り返るために、心の故郷である京都に行きます。今年是最澄上人が天台宗を開祖してちょうど千二百年になるので、比叡山を訪れてみました。ちょうど桜の花びらが散るのを惜しむかのように、鶯の清らかな鳴き声が山々にこだましておりました。

比叡山は一五七一年織田信長により堂塔四千五百余がごとごとく焼き払われ、三千人も犠牲者をだしました。その後比叡山の再興に伴い、一五八五年出羽の立石寺に分燈されていた「不滅の法燈」が比叡山に戻され今も灯され続けております。

その「不滅の法燈」からローソクに灯をもらい、根本中堂に献燈し祈願してまいりました。暗い根本中堂の中では僧侶が一心に護摩をたいておりました。

仏教の言葉に「亡己利他 ほうこりた」という言葉があります。

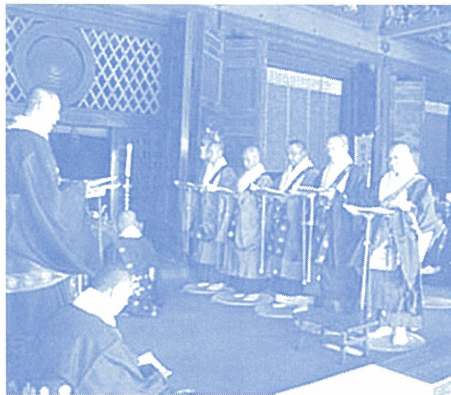
最澄上人は人のために尽くすことの大切さと同時に、そうあるための厳しさを自身に課して修行をしました。最澄が人に注ぐまなざしは慈愛に満ちていたといわれています。

翌日は臨済宗妙心寺を訪れ、山之内一豊と

妻の千代のお墓をお参りしてまいりました。東京小児療育病院の理念は帰しくも千二百年前に最長上人が唱えた精神と同じものです。

病院は今年も医療費の改定の荒波をものを受けて、大変厳しい運営を迫られております。職員一同日夜会議や検討を重ね頑張っておりますが、私たち後援会も一層頑張らねばと思えます。

病院の歴代の理事長や職員の方達は、今までもいくつかの危機をのりこえて参りました。これには山之内一豊の妻千代の精神があったのではないかと思います。私たちは障害児者とその家族のために「不滅の法燈」をいつまでも灯し続けていかなければと思えます。



分燈法要

チャリティーバザーのお知らせ

開催日 平成18年10月29日(日)
時間 10:00~15:00
場所 東京小児療育病院院庭
武蔵村山市学園4-10-1
☎042-561-2521 (お問い合わせ:総務部)

御寄贈品を受け付けております。ご協力お願いいたします
皆様のお越しを心よりお待ちしております!!



チャリティコンサート
~ オルフエの会 ~

と き 平成18年12月3日(日)
受付時間 11:30
開始 12:00 (開宴、開演)
ところ 新高輪プリンスホテル
出演 コー・ガブリエル・カメダ(ドイツより来日)と
東京チェンバーフィルハーモニック
会費 25,000円

オルフェの会のお知らせ

いつもチャリティーコンサートにご協力いただき有り難うございます。今年もオルフェの会を開催することとなりました。皆様に楽しんでいただけるよう、多数のプログラムをご用意しております。

皆様お誘い合わせの上、多数ご参加下さいますようお願い申し上げます。

鶴風会後援会へご寄付者ご芳名

平成十八年一月～平成十八年三月
一九七名(五十音順・敬称略)

相沢ミツエ・浅川 恭行・荒木美枝子
安西偕二郎・安部 良治
五十嵐いづ子・井形 厚臣・池田喜久子
いざよい会・石見 徹夫・伊丹千寿子
井上 瑞穂・猪俣賢一郎・今西 昶子
上野 洋子・上田 由紀・宇多 陽子
内 孝・梅田 正法・梅田みほ子
梅原 公江
榎本みつ枝
及川 真・大橋 和男・大谷 宏明
大脇 照枝・奥村 研三・奥山 伸男
小田桐 恵・小原 該一
柿添 瓊子・鹿島田忠史・柘原 宏久
片岡 信代・加藤 葉子・金森 勝士
金子 晴生・鎌田 直子・釜泡 登志
亀井 麻子・川野 報子・河村 康明
河村 裕子・菅野 訓子
木内 徹子・北野千賀子・鬼頭 秀明
木村 丹
蔵並 きん・久保 修一・久保 博
月花 亮
神津 康雄・小島 榮吉・小竹原良雄
小竹原安見・小林 義郎・駒林とめ子
今野 信子
齊藤 英子・斎藤 長則・斎藤 則善

境 敏秀・先山 隆司・佐々木 綾
佐多 由紀・佐藤 重雄・佐藤 艶子
佐藤 芳子・澤井 寛人
志島眞理子・渋谷 朝子・渋谷 昌良
島田 敏雄・嶋田 寛子・清水五百子
清水 純男・清水 義勝・志村 博基
末吉 実子・杉本 寛子・杉山 卓哉
鈴木 和子・鈴木 秀明・鈴木 良二
鈴木 雍人・炭山 朋子・炭山 嘉伸
関 静・関口 喜久・泉水 昇
宗 恒雄
高槻 義夫・高月 誠・高橋 久子
高安 勤・高野 玄興・竹沢 修
竹下 直樹・竹下 寿子・竹下 文雄
武田みつ子・多田 正子・田中 明美
田中 園子・田部 秀山
塚越 実・塚本 佳子・堤 俊一郎
壺阪比路里・鶴岡 康子
寺野 堯子
富岡 瑞子・友田真知子・豊島 久子
長岡 貞雄・中里龍太郎・中谷 尚登
中野 實・長野 文子・中村 一男
仲村 健一・中村志津子・中村 豊
中山 年子・並木 温・成毛 典子
西尾 温子・西岡 節子・西川 朋子
西田 隆寛・西宮 常代・二宮 文乃
二宮 禮
野沢 明子・野中 杏栄・野中 博子
野村 正行

萩原 雅子・橋口 玲子・橋詰 直孝
早川 浩市・早瀬川 昌・原 啓
原 孝・原田千鶴子・原田裕美子
土方 淳・平沢 幸子・平野 徹
府川 則子・福井 卓也・福田 静子
福田 美枝・藤田 親代・藤田ルリ子
発地 美介・堀川 一博
前田 澄子・馬嶋 順子・松井 吉彌
松原 龍弘・松本 章・丸山 和子
三宅 三・水野 惇子・水吉 秀男
水吉 陽子・水上 淳子・宮川千鶴子
宮崎 和・宮本 みち
向山 和代・向山 秀樹・村川世津子
茂手木三男・本明 啓子・本明 寛
森 紫珠子・森岡八重子
安土 達夫・谷藤 誠司・矢野 春雄
山口 之利・山下 育子・山住美津子
山田 輝代・山田三枝子・山村 憲
山本みどり
横山ちとせ・吉田 友英・吉田 宏重
吉見 梓
渡辺 和子・渡辺古都江・和田 俊洋

社会福祉法人鶴風会へご寄付者
ご芳名(法人・団体・個人)
平成十八年一月～平成十八年三月
三十七名(五十音順・敬称略)

(編)鶴風会 後援会オルフェの会
拓洋物産株式会社

東邦大学医学部看護学科大森祭実行委員
会一同
父母会後援会

赤星 恵子・荒川とよ子・岩本 江つ
鶴川美登里・大越 優美・木下さおり
桜川 宣男・佐藤 登・志水 達雄
清水 宏・鈴木 康之・武井 理子
武智 信幸・長 博雪・長岡 常雄
広野 日善・舟橋満寿子・牧野 道子
松尾 賢二・松田 光展
松本 誓子・松山 文夫・柳 恵子
山口 恭子・山田耕一郎・和田 恵子
飯塚 育子・石田 勇・関根 雅弘
高橋 孝彦・中里由理枝・守田 洋

東京小児療育病院
みどり愛育園へご寄付者ご芳名
平成十八年一月～平成十八年三月
二十二名(五十音順・敬称略)

安部 浩一・阿部美代子・幾田 祥生
伊藤 雅子・江田 周二・海老原健介
大串 保雄・岡松 真幸・長田 和久
川村美知子・小嶋 伸江・斉藤 雅彦
鈴木 美帆・高橋 孝彦・竹中 幸宏
寺内 政志・中里由理枝・萩原 真治
馬場 文彦・守田 洋・山下 順子
渡辺 晃